



地域学校協働本部だより

令和7年6月9日発行 NO.3

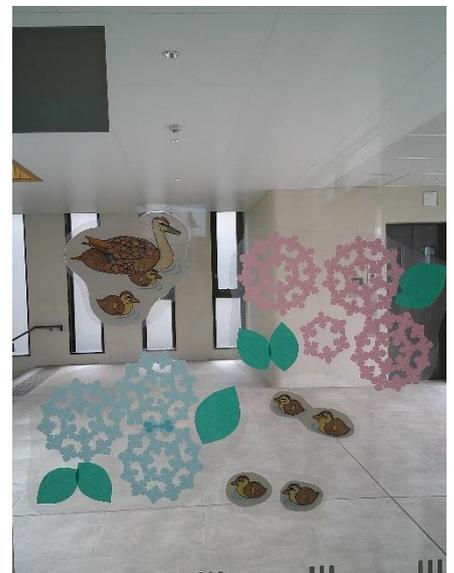
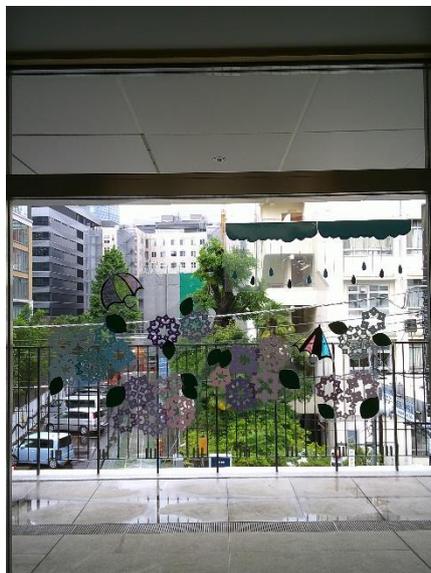
港区立赤羽小学校 校長 中村 美奈子
地域コーディネーター 石川 啓子
大髙 淳子
地域学校協働本部担当 鷲頭 功学
永富 敬之

6月の玄関装飾

季節外れの暑いゴールデンウィークが過ぎ、だんだん雲が多くすっきりしないお天気が増えてきました。梅雨になると雨の日が続きます。気分も落ち込むかもしれません。

でも、雨の日には雨だけの素敵なこともあるんですよ。カラフルな傘を差した雨合羽姿のカエルたちが歌っています。そして、晴れ間から覗いた虹のふもとでは、テルテル坊主が嬉しくて踊っています。そんな、雨でも楽しくなる装飾を考えて作りました。

さあ、シトシト雨の音を聴きながら、喜ぶ生き物たちを見つけに外にでてみませんか。きっとふさいだ気持ちにも晴れ間がやってきますよ。



玄関・壁面装飾について

赤羽小学校で4人のボランティアさんが装飾を考え、作成して下さっています。

このボランティアは、コロナ禍から始まりました。初めは24節気に合わせて作成してきました。季節に合わせた作品に気づき、「あっ!」と、うれしくなってほしいという願いにあふれています。作品が出来るまで楽しんだり、工夫したり、考えたり・・・創造を形にして下さっています。私は、24節気を紹介したり、「おはぎ」と「ぼたもち」が小豆を季節によって形を区別したいわれだった紹介をしたり、人と共生を図る鳥の紹介をしたり。(最近、某駐車場でツバメが巣をかけていました。)鳥の渡りや「小満」の頃の植物も虫も多くなり、見かける物の名前が「草」から「紫陽花」になることを願っています。ツバメ、どこにいるか分かりますか？

